

# 平成30年度

## 道路関係補正予算（第2次）配分概要

### 目 次

I . 平成30年度道路関係補正予算（第2次）配分方針 . . . . .	1
II . 平成30年度道路関係補正予算（第2次）配分総括表 . . . . .	2
III . 事業別概要 . . . . .	2
IV . 都道府県別等配分額 . . . . .	3
V . 配分箇所のご具体事例 . . . . .	6

平成31年2月  
国土交通省道路局  
国土交通省都市局

# I. 平成30年度道路関係補正予算（第2次）配分方針

## 1. 一般公共事業

重要インフラの緊急点検の結果等を踏まえた「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」のうち、初年度の対策として速やかに着手すべきものが計上されたところである。また、その他喫緊の課題への対応を行うため、国民生活の安全・安心の確保や災害復旧等に必要な経費が計上されたところである。

配分に当たっては、追加の趣旨を十分踏まえ、「広域交通を担う幹線道路等に関する緊急対策」及び「道路の老朽化対策等」について、地域の実情や地方公共団体の要望等を勘案しつつ、重点的かつ効率的な配分を行うこととする。

## 2. 国庫債務負担行為（ゼロ国債）

公共事業の円滑かつ効率的な執行を図るため、事業の平準化を推進することとし、特に、積雪寒冷地域等地域の状況に十分配慮して配分を行うこととする。

※この他に、防災・安全交付金（国費2,975億円）及び社会資本整備総合交付金（国費274億円）があり、地方の要望に応じて道路整備に充てることができる。

※この他に、平常時、災害時問わず物流機能を担う運送業者に対し、ETC2.0の普及を促進しつつ、物流コストを低減し、経営体質の強化により生産性向上を図るため、大口・多頻度割引の最大割引率を40%から50%に拡充する措置の延長（2020年3月末まで）を実施するための経費（国費109億円）を計上している。

## Ⅱ. 平成30年度道路関係補正予算（第2次） 配分総括表

[総事業費]

(単位：百万円)

区分	「防災・減災、国土強靱化のための緊急対策」			「その他喫緊の課題への対応」			小計			国庫債務負担行為（ゼロ国債）			合計		
	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計
直轄事業	10,935	95,014	105,949	3,717	12,220	15,937	14,652	107,234	121,886	27,648	3,043	30,691	42,300	110,277	152,577
補助事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,940	-	1,940	1,940	-	1,940
合計	10,935	95,014	105,949	3,717	12,220	15,937	14,652	107,234	121,886	29,588	3,043	32,631	44,240	110,277	154,517

(注) 事業費ベース

※本表には、障害者雇用の推進に係る費用を含む。

※この他に、調査費がある。

※この他に、防災・安全交付金(国費2,975億円)及び社会資本整備総合交付金(国費274億円)があり、地方の要望に応じて道路整備に充てることができる。

## Ⅲ. 事業別概要

### ○防災・減災、国土強靱化のための緊急対策

#### ・広域交通を担う幹線道路等に関する緊急対策 105,949百万円

重要インフラの緊急点検結果等を踏まえ、「国民経済・生活を支える重要インフラ等の機能維持」の観点から、法面・盛土対策や無電柱化などの対策を実施。

(参考) 防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策(対策項目)

①法面・盛土 ②冠水 ③越波・津波 ④耐震 ⑤踏切 ⑥停電・節電 ⑦豪雪 ⑧無電柱化

### ○その他喫緊の課題への対応

#### ・道路の老朽化対策等 15,720百万円

定期点検の結果、老朽化が判明した道路構造物(橋梁、トンネル、道路付属物等)について、災害発生時における交通機能の確保等を図るため修繕等を実施。

#### IV. 都道府県別等配分額

[直轄事業]

区 分	「防災・減災、国土強靱化のための緊急対策」			「その他喫緊の課題への対応」			小 計		
	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計
北海道開発局	402	11,091	11,493	447	850	1,297	849	11,941	12,790
東北地方整備局	1,639	11,189	12,828	182	2,025	2,207	1,821	13,214	15,035
関東地方整備局	1,072	15,866	16,938	1,180	1,660	2,840	2,252	17,526	19,778
北陸地方整備局	835	8,646	9,481	54	1,348	1,402	889	9,994	10,883
中部地方整備局	1,827	14,702	16,529	199	2,065	2,264	2,026	16,767	18,793
近畿地方整備局	1,578	8,482	10,060	328	676	1,004	1,906	9,158	11,064
中国地方整備局	520	10,952	11,472	244	1,778	2,022	764	12,730	13,494
四国地方整備局	1,190	5,417	6,607	393	448	841	1,583	5,865	7,448
九州地方整備局	1,672	8,069	9,741	451	1,220	1,671	2,123	9,289	11,412
沖縄総合事務局	200	600	800	240	150	390	440	750	1,190
合 計	10,935	95,014	105,949	3,717	12,220	15,937	14,652	107,234	121,886

(注) 事業費ベース

※本表には、障害者雇用の推進に係る費用を含む。

※この他に、調査費がある。

※四捨五入の関係で、各計数の和が合計と一致しないところがある。

(単位：百万円)

国庫債務負担行為 (ゼロ国債)			合 計		
本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計
5,915	830	6,745	6,764	12,771	19,535
3,561	1,041	4,602	5,382	14,255	19,637
4,550	222	4,772	6,802	17,748	24,550
1,204	162	1,366	2,093	10,156	12,249
3,444	150	3,594	5,470	16,917	22,387
2,540	189	2,729	4,446	9,347	13,793
2,045	72	2,117	2,809	12,802	15,611
1,409	120	1,529	2,992	5,985	8,977
2,460	177	2,637	4,583	9,466	14,049
520	80	600	960	830	1,790
27,648	3,043	30,691	42,300	110,277	152,577

## [補助事業]

(単位：百万円)

区 分	国庫債務負担行為（ゼロ国債）		
	本省配分	一括配分	計
北海道	-	-	-
青森県	140	-	140
岩手県	-	-	-
宮城県	-	-	-
秋田県	-	-	-
山形県	-	-	-
福島県	-	-	-
茨城県	-	-	-
栃木県	-	-	-
群馬県	1,100	-	1,100
埼玉県	-	-	-
千葉県	-	-	-
東京都	-	-	-
神奈川県	-	-	-
山梨県	-	-	-
長野県	-	-	-
新潟県	-	-	-
富山県	-	-	-
石川県	-	-	-
岐阜県	-	-	-
静岡県	-	-	-
愛知県	-	-	-
三重県	-	-	-
福井県	-	-	-
滋賀県	-	-	-
京都府	-	-	-
大阪府	-	-	-
兵庫県	-	-	-
奈良県	-	-	-
和歌山県	-	-	-
鳥取県	-	-	-
島根県	-	-	-
岡山県	-	-	-
広島県	-	-	-
山口県	-	-	-
徳島県	-	-	-
香川県	-	-	-
愛媛県	-	-	-
高知県	-	-	-
福岡県	-	-	-
佐賀県	-	-	-
長崎県	500	-	500
熊本県	-	-	-
大分県	-	-	-
宮崎県	200	-	200
鹿児島県	-	-	-
沖縄県	-	-	-
合 計	1,940	-	1,940

(注) 事業費ベース

※この他に、防災・安全交付金（国費2,975億円）及び社会資本整備総合交付金（国費274億円）があり、地方の要望に応じて道路整備に充てることできる。

## V. 配分箇所の具体事例

### 1. 「防災・減災、国土強靱化のための緊急対策」

都道府県名	箇所名	配分額	事業概要
(百万円)			
(広域交通を担う幹線道路等に関する緊急対策)			
大分県	一般国道10号 大分10号維持管理 (法面・盛土)	276	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容：法面・盛土</li> <li>・対策概要(主なもの)</li> </ul> <p>豪雨により土砂災害等が発生するリスクを回避するため、落石崩壊のおそれのある国道10号佐伯市弥生地区において、ロープネット工等の法面对策を実施することで、道路法面・盛土等に関する緊急対策を推進。</p>
宮城県	一般国道45号 宮城45号維持管理 (冠水)	105	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容：冠水</li> <li>・対策概要(主なもの)</li> </ul> <p>排水能力が不十分で豪雨により冠水が想定されるため、国道45号の苦竹地区において、排水構造物工事及び舗装修繕工事を実施することで、道路の排水施設等に関する緊急対策を推進。</p>
神奈川県	一般国道1号 神奈川1号維持管理 (越波・津波)	734	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容：越波・津波</li> <li>・対策概要(主なもの)</li> </ul> <p>高潮による越波が想定されるため、国道1号大磯町・二宮町地区において、越波防止柵工等を実施することで、道路における越波に関する緊急対策を推進。</p>

(注) 事業費ベースで作成。

都道府県名	箇所名	配分額	事業概要
愛知県	一般国道23号 愛知23号維持管理 (耐震)	(百万円) 951	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容：耐震</li> <li>・対策概要(主なもの)</li> </ul> <p>地震による倒壊リスクを解消するため、国道23号荒子西部高架橋(下り)において、耐震補強工事を実施することで、道路橋の耐震補強に関する緊急対策を推進。</p>
新潟県	一般国道7号 新潟7号交通安全 (停電・節電)	100	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容：停電・節電</li> <li>・対策概要(主なもの)</li> </ul> <p>被災時の住民の避難や復旧活動を支援するため、国道7号道の駅「神林」において、非常用発電設備を整備することで、道路における無停電設備等に関する緊急対策を推進。</p>
福井県	一般国道8号 福井8号維持管理 (豪雪)	378	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容：豪雪</li> <li>・対策概要(主なもの)</li> </ul> <p>大雪時の大規模な車両滞留リスクを低減させるため、国道8号白崎地区において、チェーン着脱場の整備を実施することで、大雪時の車両滞留危険箇所に関する緊急対策を推進。</p>



都道府県名	箇所名	配分額	事業概要
山口県 <small>うべ</small> (宇部市)	一般国道190号 <small>うべ かめうら</small> 宇部亀浦 電線共同溝 (無電柱化)	(百万円)  70	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業内容：無電柱化</li> <li>・ 対策概要</li> </ul> <p>既往最大風速が大きく、電柱倒壊の危険度が高い市街地の緊急輸送道路で、災害拠点へのアクセスルートである当該事業区間において、道路閉塞等の被害を防止するため、電線共同溝事業を実施することで、市街地における電柱に関する緊急対策を推進。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">(参考)交付金事業</div> 福岡県	(整備計画名) 連続立体交差化による市街地の交通環境改善(交通拠点連携集中支援)	4,907	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業内容：踏切</li> <li>・ 対策概要</li> </ul> <p>地震等により踏切道の長時間遮断が発生し、救急活動や人流・物流等に大きな影響を与える踏切道が存在する箇所において、立体交差化を実施することで、踏切道に関する緊急対策を推進。</p>

## 2. その他喫緊の課題への対応

都道府県名	箇所名	配分額	事業概要
(道路の老朽化対策等)  千葉県	一般国道14号 千葉14号維持管理	(百万円)  80	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業内容：老朽化対策</li> <li>・ 補正予算投入効果（主なもの）</li> </ul> <p>安全・安心な交通機能確保等を図るため、定期点検の結果、老朽化が判明した国道14号幕張5丁目歩道橋において、床版補修工事等を実施することで、老朽化対策を推進。</p>
高知県 <small>こうち</small> (高知市)	一般国道32号 <small>たかす</small> 高須地区 電線共同溝	200	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業内容：無電柱化</li> <li>・ 補正予算投入効果</li> </ul> <p>無電柱化推進計画に基づき、良好な景観の形成、安全かつ円滑な交通の確保、災害の防止のため、無電柱化対策を推進。</p>

(ゼロ国債)

都道府県名	箇所名	配分額	事業概要
<p>[直轄事業]</p> <p>北海道 えんがるちょう (遠軽町)</p>	<p>一般国道450号 あさひかわ もんべつ 旭川・紋別自動車道 まるせつがえんがる 丸瀬布遠軽道路</p>	<p>(百万円)</p> <p>750</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業内容：高規格幹線道路</li> <li>・ 事業延長：18.0km</li> <li>・ 補正予算（ゼロ国債）投入効果</li> </ul> <p>積雪寒冷地である野上地区<small>のがみ</small>の舗装工事の早期発注が可能となり、冬期間を避けた施工を行うことで、2019年度の開通がより確実になる。</p>
<p>福島県 にしあいづまち (西会津町)</p>	<p>一般国道49号 ほうさか 宝坂付加車線整備</p>	<p>180</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業内容：付加車線</li> <li>・ 事業延長：0.8km</li> <li>・ 補正予算（ゼロ国債）投入効果</li> </ul> <p>積雪寒冷地である西会津町宝坂地区<small>にしあいづまちほうさか</small>の改良工事の早期発注が可能となり、冬期間を避けた施工を行うことで、着実に事業進捗を図る。</p>
<p>[補助事業]</p> <p>長崎県 いさはや (諫早市)</p>	<p>一般県道 いさはや 諫早外環状線 いさはや 諫早インター工区</p>	<p>500</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業内容：地域高規格道路</li> <li>・ 事業延長：4.3km</li> <li>・ 補正予算（ゼロ国債）投入効果</li> </ul> <p>次年度に発注予定であった小船越<small>こぶなこし</small>IC～諫早<small>いさはや</small>ICにおける改良工事を前倒しすることで、着実に事業進捗を図る。</p>



# 参考資料 配分箇所の具体事例

# 防災・減災、国土強靱化のための緊急対策

## 広域交通を担う幹線道路等に関する緊急対策

- ・一般国道10号 大分10号維持管理(法面・盛土) … 1
- ・一般国道45号 宮城45号維持管理(冠水) … 2
- ・一般国道1号 神奈川1号維持管理(越波・津波) … 3
- ・一般国道23号 愛知23号維持管理(耐震) … 4
- ・一般国道7号 新潟7号交通安全対策(停電・節電) … 5
- ・一般国道8号 福井8号維持管理(豪雪) … 6
- ・一般国道190号 <sup>うべ かめうら</sup>宇部亀浦電線共同溝(無電柱化) … 7
- ・福岡県「連続立体交差化による市街地の交通環境改善(交通拠点連携集中支援)」(踏切) … 8

## その他喫緊の課題への対応

### 道路の老朽化対策等

- ・一般国道14号 千葉14号維持管理 … 9
- ・一般国道32号 <sup>たかす</sup>高須地区電線共同溝 … 10

- (参考)防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策(道路関係) … 11

# 一般国道10号 大分10号維持管理(法面・盛土)

- 一般国道10号は、福岡県北九州市を起点とし鹿児島県鹿児島市に至る全長約490kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定。
- 豪雨により土砂災害等が発生するリスクを回避するため、落石崩壊のおそれのある国道10号佐伯市弥生地区において、ロープネット工等の法面对策を実施することで、道路法面・盛土等に関する緊急対策などを推進。

H30補正:大分10号維持管理(法面・盛土) 2.8億円(事業費)

## 【配分箇所の詳細事例】

### 《位置図》



### 《諸元等》

事業区間 : 大分県佐伯市弥生地区  
 延長 : 0.16km

### 《現状》



法面の岩塊状況

### 《対策イメージ》



ロープネット工

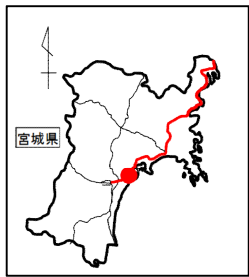
○一般国道45号は、<sup>みやぎ</sup>宮城県<sup>せんだい</sup>仙台市を起点とし、<sup>あおもり</sup>青森県<sup>あおもり</sup>青森市に至る全長約625kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定。

○排水能力が不十分で豪雨により冠水が想定されるため、国道45号の<sup>にがたけ</sup>苦竹地区において、排水構造物工事及び舗装修繕工事を実施することで、道路の排水施設等に関する緊急対策などを推進。

H30補正：宮城45号維持管理(冠水) 1.1億円(事業費)

【配分箇所】の代表事例

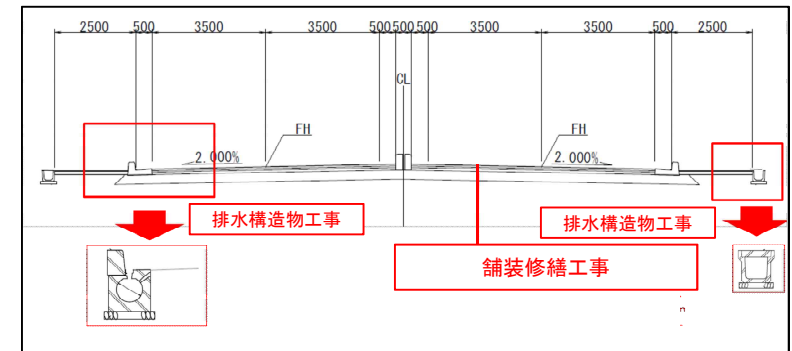
《位置図》



《諸元等》

事業区間：<sup>みやぎ</sup>宮城県<sup>せんだい</sup>仙台市<sup>にがたけ</sup>苦竹地区  
延長：1.2km

《対策イメージ》



《現状》



冠水状況 (H27.9)



排水施設現況





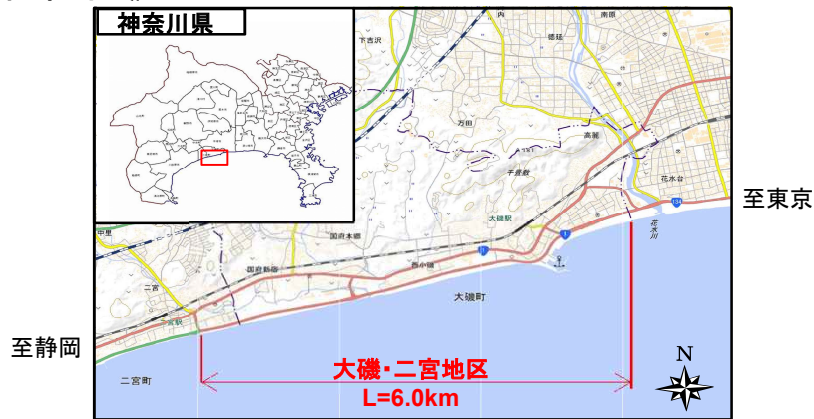
# 一般国道1号 神奈川1号維持管理(越波・津波)

- 一般国道1号は、東京都中央区を起点とし大阪府大阪市北区に至る全長約780kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定。
- 高潮による越波が想定されるため、国道1号大磯町・二宮町地区において、越波防止柵工等を実施することで、道路における越波に関する緊急対策などを推進。

H30補正：神奈川1号維持管理(越波・津波) 7.3億円(事業費)

## 【配分箇所代表事例】

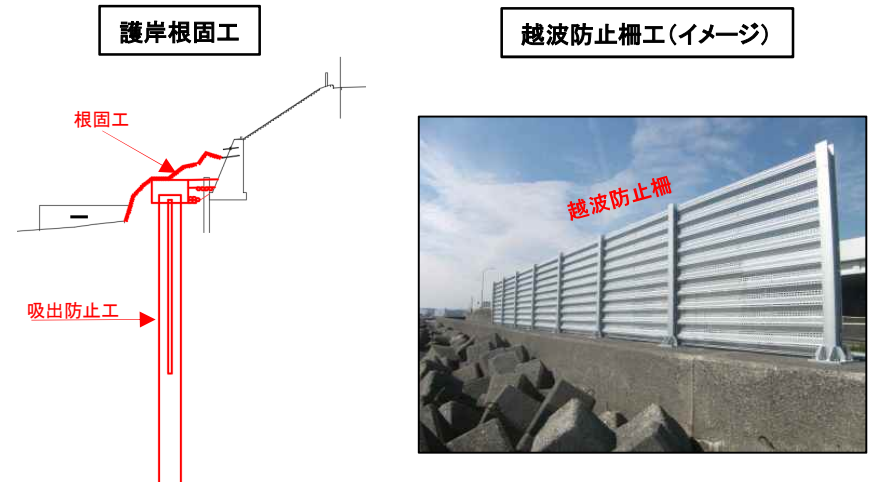
### 《位置図》



### 《諸元等》

事業区間：神奈川県中郡大磯町・二宮町地区  
 延長：6.0km

### 《対策イメージ》



### 《現況》



越波状況 H30.7.28



○一般国道23号は、愛知県豊橋市を起点とし、三重県伊勢市に至る全長約175kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定。

○地震による倒壊リスクを解消するため、国道23号荒子西部高架橋(下り)において、耐震補強工事を実施することで、道路橋の耐震補強に関する緊急対策などを推進。

H30補正:愛知23号維持管理(耐震) 9.5億円(事業費)

【配分箇所の代表事例】

《位置図》



至伊勢市



至豊橋市

《諸元等》

橋梁名:荒子西部高架橋(下り)  
事業区間:愛知県名古屋市港区十一屋  
建設年:1962年  
橋長:345m

《現状》

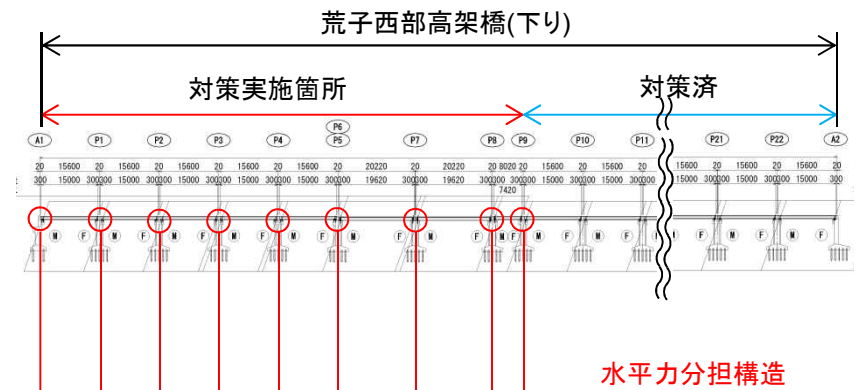


<橋脚の状況>

《対策イメージ》



<変位制限装置の設置(主桁の横ずれ防止)>



# 一般国道7号 新潟7号交通安全対策(停電・節電)

- 一般国道7号は、新潟県新潟市を起点とし青森県青森市にいたる全長550kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定。
- 被災時の住民の避難や復旧活動を支援するため、国道7号道の駅「神林」において、非常用発電設備を整備することで、道路における無停電設備等に関する緊急対策などを推進。

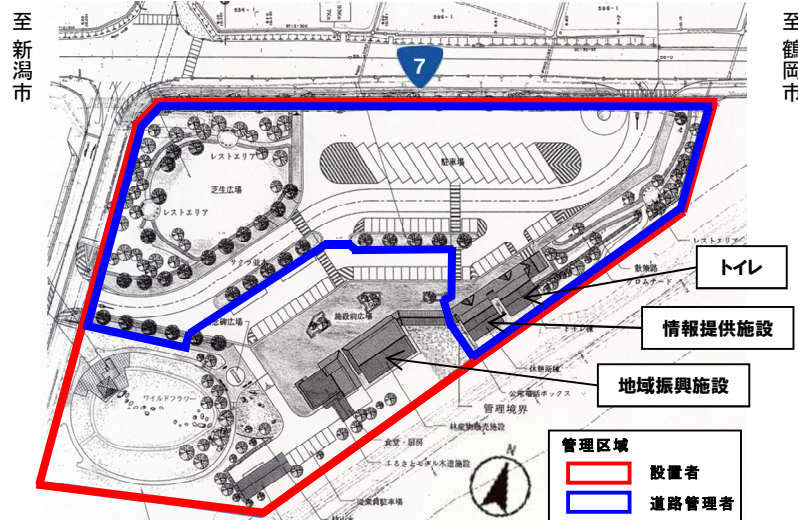
H30補正:新潟7号交通安全(停電・節電) 1.0億円(事業費)

## 【配分箇所の代表事例】

### 《位置図》



### 《平面図》



### 《全景》



### 《整備イメージ》



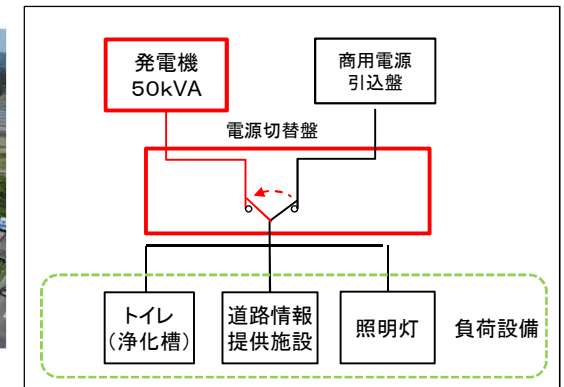
発電機



燃料タンク

《諸元》 非常用発電設備 50kVA(発電機、電源切替盤)

### 電源系統図



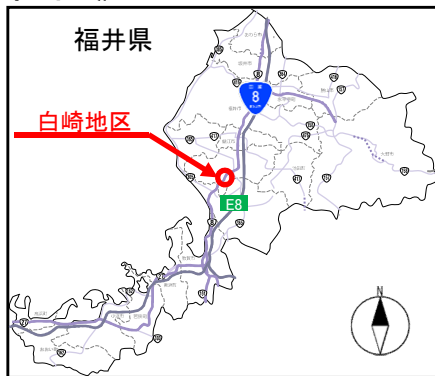
# 一般国道8号 福井8号維持管理(豪雪)

- 一般国道8号は、新潟県新潟市を起点とし、京都府京都市に至る延長約574kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定。
- 大雪時の大規模な車両滞留リスクを低減させるため、国道8号白崎地区において、チェーン着脱場の整備を実施することで、大雪時の車両滞留危険箇所に関する緊急対策などを推進。

H30補正：福井8号維持管理(豪雪) 3.8億円(事業費)

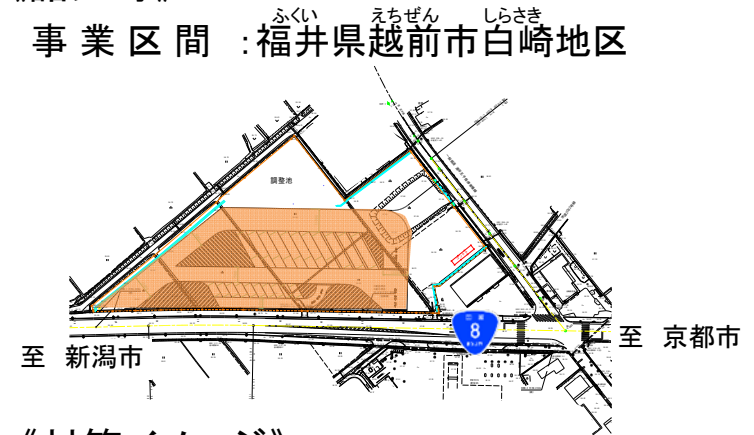
## 【配分箇所の代表事例】

### 《位置図》



### 《諸元等》

事業区間：福井県越前市白崎地区



### 《現状》



路上でのチェーン指導状況 (H26.12.6)



立ち往生発生(牽引)状況 (H30.2.5)

### 《対策イメージ》



# 一般国道190号 宇部亀浦電線共同溝（無電柱化）

- 国道190号宇部市の当該事業区間は、既往最大風速が大きく、電柱倒壊の危険度の高い市街地の緊急輸送道路であり、災害拠点へのアクセスルートを構成。
- 災害時の道路閉塞等の被害を防止するため、電線共同溝事業を実施することで、市街地における電柱に関する緊急対策を推進。

《位置図》

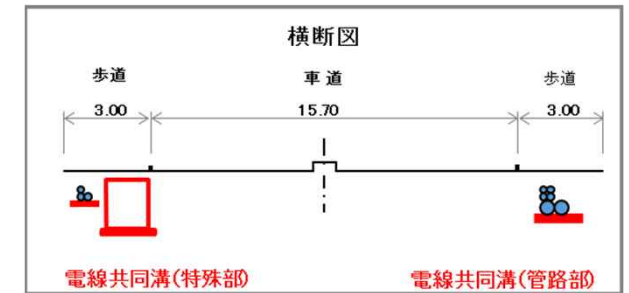


《諸元等》

事業区間： やまぐち うべ かめうら 山口県宇部市亀浦  
やまぐち うべ おんだちよう ~ 山口県宇部市恩田町地内

延長： 2.8km  
H30補正： 0.7億円(事業費)

《標準横断面図》



《平面図》



《現地状況写真》



《電柱倒壊事例》

■ H30年 台風21号による被害



市道:大阪府泉南市新家



市道:大阪府岸和田市下松町

- 西日本鉄道天神大牟田線において、地震等による長時間遮断により救急活動や人流・物流等に影響する踏切道が存在。
- 西日本鉄道天神大牟田線連続立体交差事業(春日原駅～下大利駅間)による道路と鉄道との立体交差化を推進することで、踏切道に関する緊急対策を実施。

- 計画名:連続立体交差化による市街地の交通環境改善(交通拠点連携集中支援)
- 事業主体:福岡県
- H30補正:49.1億円(事業費)

- 【代表箇所】
- 路線名:西日本鉄道天神大牟田線
- 所在地:福岡県大野城市、福岡県春日市
- 延長:約3.3km

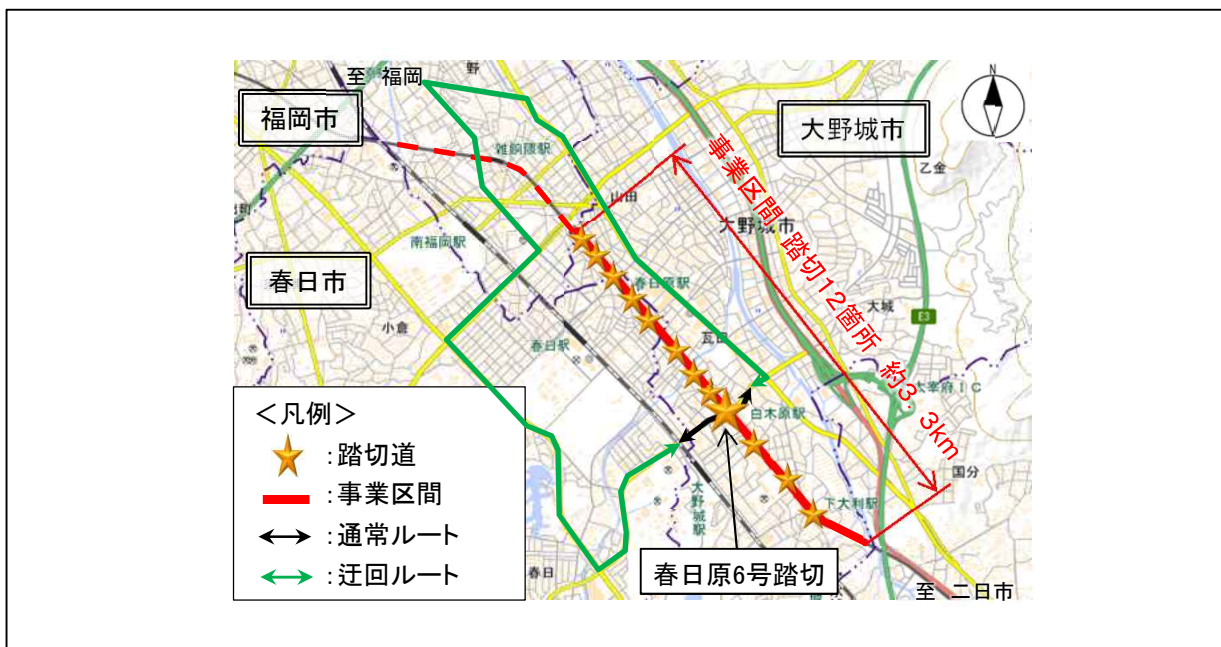
《位置図》



《状況写真》



《平面図》



《効果》

事業区間内の12箇所の踏切において、高架化により踏切遮断が全て解消

《対策イメージ》



# 一般国道14号 千葉14号維持管理

- 一般国道14号は、東京都中央区を起点とし千葉県千葉市に至る全長約49kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定。
- 安全・安心な交通機能確保等を図るため、定期点検の結果、老朽化が判明した国道14号幕張5丁目歩道橋などにおいて、床版補修工事等を実施することで、老朽化対策を推進。

H30補正：千葉14号維持管理 0.8億円(事業費)

## 【配分箇所】の代表事例

### 《位置図》



### 《全景》

(下り線側)

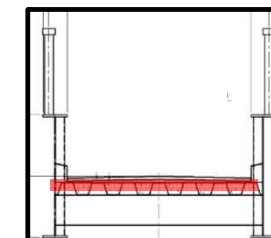
至 市原市



至 習志野市

(上り線側)

### 《対策イメージ》



床版補修・舗装補修

### 《現状》



床版下面(デッキプレートの腐食・孔食)



橋面舗装(常温合材等による補修の繰り返し)

### 《諸元等》

横断歩道橋名 : 幕張5丁目歩道橋  
 事業区間 : 千葉県千葉市  
 花見川区幕張町  
 建設年 : 1968年  
 橋長 : 50.6m

### 《対策イメージ》



デッキプレートの補修



橋面舗装の補修

○ 無電柱化推進計画に基づき、良好な景観の形成、安全かつ円滑な交通の確保、災害の防止のため、無電柱化対策を推進。

《課題(イメージ)》



電柱により、良好な景観が阻害



電柱による  
歩行空間の阻害

《効果(イメージ)》



整備前



整備後

良好な景観の形成や歩行空間の確保に寄与

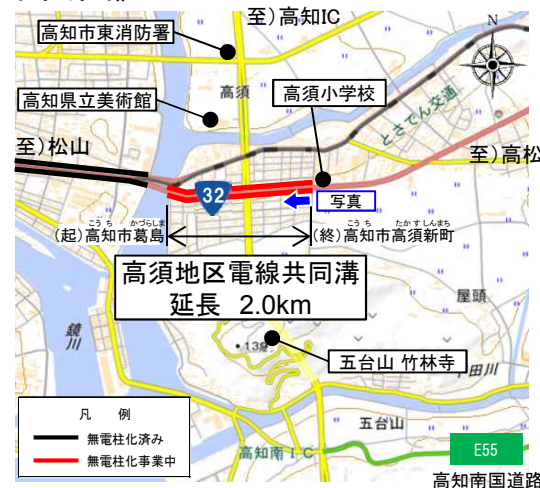
《位置図》



《諸元等》

事業区間：高知県高知市葛島  
～高知県高知市高須新町  
延長：2.0km  
H30補正：2.0億円(事業費)

《平面図》



《現地状況写真》





# 防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策(道路関係)

○重要インフラの緊急点検結果等を踏まえ「国民経済・生活を支える重要インフラ等の機能維持」の観点から、特に緊急に実施すべきハード・ソフト対策について、2020年度までの3年間で集中的に実施する。

## 法面・盛土

土砂災害等の危険性が高く、社会的影響が大きい箇所約**2,000箇所**について、土砂災害等に対応した道路法面・盛土対策、土砂災害等を回避する改良や道路拡幅などの緊急対策を概ね完了。



<法面法枠工> <危険箇所を回避するミニバイパス>

## 冠水

冠水発生の恐れのある箇所について、道路(約**1,200箇所**)及びアンダーパス部等(約**200箇所**)の排水能力向上のため排水施設の補修等の緊急対策を概ね完了。



<排水施設> <排水ポンプ>

## 越波・津波

越波・津波の危険性のある約**80箇所**について、消波ブロック整備等の越波防止対策、ネットワーク整備による越波・津波に係る緊急対策を概ね完了。



<消波・根固ブロック> <ネットワーク整備>

## 耐震

耐震対策未実施の橋梁約**600箇所**※1、道の駅約**30箇所**※2について、耐震補強に係る緊急対策を概ね完了。

※1：緊急輸送道路上の橋梁の内、今後30年間に震度6以上の揺れに見舞われる確率が26%以上の地域にあり、事業実施環境が整った橋梁  
※2：地域防災計画に位置づけがあり、耐震対策未実施の道の駅



<橋梁の耐震対策> <道の駅の耐震対策>

## 踏切

救急活動や人流・物流等に大きく影響を与える可能性がある踏切約**200箇所**について、長時間遮断時に優先的に開放する踏切への指定等や踏切の立体交差化等の緊急対策を実施。うち、約**20箇所**において期間内に立体交差化を完了。



<単独立体交差事業> <連続立体交差事業>

## 停電・節電

停電により情報が遮断され管理上支障が生じる恐れのある道路施設約**1,600箇所**※1、道の駅約**80箇所**※2等について、無停電設備(発動発電機、蓄電池)の整備等の緊急対策を概ね完了。

※1：事前通行規制区間内等にある道路施設で無停電設備が未設置な箇所等  
※2：地域防災計画に位置づけがあり、無停電設備が未整備な道の駅



<無停電装置> <自家発電装置>

## 豪雪

道路上での車両滞留の発生を踏まえ、大規模な車両滞留リスクのある約**700箇所**について待避場所等のスポット対策や除雪車増強の体制強化等の緊急対策を概ね完了。



<除雪機械の増強> <チェーン着脱場>

## 無電柱化

既往最大風速が一定程度以上で、電柱倒壊の危険性の高い市街地の緊急輸送道路の区間(約**1万km**)において、災害拠点へのアクセスルートで事業実施環境が整った区間約**1,000km**について、無電柱化を実施。



<電柱ガゼードマップ>

<電柱倒壊による道路閉塞>

(注) 道の駅及び踏切以外の『箇所』の計上方法については、路線別に都道府県毎の区間を1箇所としています。



平成30年度

地方創生整備推進交付金補正予算(第2次)  
配分概要

【地方創生道整備推進交付金】

国土交通省  
道 路 局

## 〔道整備交付金〕

### 1. 事業概要

地域創生を支援するため、農林業等の振興や都市・物流拠点等との交流促進を目的として、地方公共団体が策定した地域再生計画に基づく、広域農道・林道と一体的に行う市町村道の整備を支援します。

### 2. 配分方針

地方公共団体の要望を踏まえ、26計画の市町村道を対象に予算配分を行います。

### 3. 配分額

事業費 15億円

国費 8億円

平成30年度補正予算(第2次) 地方創生道整備推進交付金(市町村道) 都道府県別配分額

区分	計画数	国費 (百万円)	(参考) 事業費 (百万円)
北海道	-	-	-
青森県	1	35	70
岩手県	-	-	-
宮城県	-	-	-
秋田県	-	-	-
山形県	-	-	-
福島県	-	-	-
茨城県	1	58	116
栃木県	3	75	150
群馬県	1	14	28
埼玉県	2	62	124
千葉県	1	13	26
東京都	-	-	-
神奈川県	-	-	-
新潟県	1	22	43
富山県	-	-	-
石川県	2	253	505
福井県	2	43	85
山梨県	3	31	61
長野県	3	69	139
岐阜県	1	3	6
静岡県	-	-	-
愛知県	-	-	-
三重県	-	-	-
滋賀県	-	-	-
京都府	1	45	90
大阪府	-	-	-
兵庫県	2	20	40
奈良県	-	-	-
和歌山県	-	-	-
鳥取県	-	-	-
島根県	-	-	-
岡山県	-	-	-
広島県	-	-	-
山口県	-	-	-
徳島県	-	-	-
香川県	-	-	-
愛媛県	-	-	-
高知県	-	-	-
福岡県	-	-	-
佐賀県	-	-	-
長崎県	-	-	-
熊本県	-	-	-
大分県	-	-	-
宮崎県	2	24	48
鹿児島県	-	-	-
沖縄県	-	-	-
合計	26	766	1,532

(注1) 四捨五入の関係で、各計数の和が合計と一致しないところがある。